



監督◆インタビュー

監督

ランコ ポポヴィッチ

RANKO POPOVIC

プロフィールはこちらをクリック!

--久しぶりの勝利から次の試合に向けた準備が進む中、チームの雰囲気はいかがですか。

「勝ち星がなかった頃も決してチームの雰囲気が悪かったわけではないですし、チームの雰囲気が良くないから結果に繋がらなかったわけではありません。ただ我々が忘れかけていたことがあったということです。前節の勝利を次に繋げるために、また賢く戦っていきたいと思います」

--連勝をするために選手たちに求めている姿勢は？

「常に求める姿勢は同じです。前節の勝利が初勝利でもありませんし、勝っても負けても常に同じ姿勢を求めています。結果が出たことで胡座(あぐら)をかいているようではいけません。人生で成功を収めたいのならば、自分の持っている可能性を客観的に理解することも大事ですし、自分の力を疑ってもいけません。そしてチームのために自分の力を引き出していくことが自分の結果に跳ね返ってくるということ。そういう考え方を持たないと、自分の力は出せません。選手たちにはそんな話をしてきました」

--今週はスモールスペースでのトレーニングが比較的多かった印象です。

「5連戦を前に毎日フルコートでやる必要はありません。ここから5連戦になりますから、トレーニングの負荷を調整していました。またスモールスペースでのプレーは時間がないので、より判断を速くすること、頭を使うことができないと、効果的な良いプレーはできません。そういったことを落とし込みたかったために、メニューに組み込みました」

--群馬の印象は？

「群馬は昨季も一昨季も非常に良いチームだという印象を持っています。群馬はコンプレックスなく戦っていますし、以前からプラスαで良くなっていることは、規律もあることや、タフにも戦えてソリッドさもあるということ。順位表や勝ち点を見ても、彼らの力が証明されていると思います」

--今節はホーム連戦です。ファン、サポーターの皆様にメッセージをお願いいたします。

「前節の新潟戦では我々の力になる応援をしていただきました。この場を借りて、感謝の気持ちを述べさせて下さい。ありがとうございました。群馬戦も皆様と勝利の喜びを分かち合いたいですし、また一体感を持って戦っていきたいと思っています。試合後にハッピーな気持ちで、我々も、皆様も、帰路につく。そういう関係性を築いていくことが一番ですが、自分たちよりも順位が下である群馬が相手だから勝てるでしょうという雰囲気は危険です。我々も皆様の力をお借りして、今まで以上に結果と内容で上回る姿をお見せすることで、皆様の応援に対する恩返しをしていきたいと思っています」

FC MACHIDA ZELVIA Official MATCHDAY PROGRAM DIGITAL

FC町田ゼルビアと、共に。
CLUB
ZELVISTA

シーズンシート
クラブゼルビスタ2022
会員募集中!

